

4年 社会 自然災害 一問一答（20問） 版I

なまえ： _____

日づけ： _____

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

- (1) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか
- (2) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか
- (3) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか
- (4) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか
- (5) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか
- (6) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか
- (7) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか
- (8) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか
- (9) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか
- (10) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか
- (11) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか
- (12) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか
- (13) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか
- (14) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか
- (15) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか
- (16) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか
- (17) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか
- (18) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか
- (19) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか
- (20) 災害のときすぐになげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか
